

**令和元年度  
第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会  
次 第**

＜日 時＞ 令和2年1月15日（水）  
14：00～15：30  
＜場 所＞ 市役所5階 大会議室

- （1）令和元年度事業実施状況について
- （2）地域ケアネットワーク推進協議会について
- （3）在宅緩和ケア推進事業について
- （4）地域ケア推進会議について
- （5）その他（次回開催日程、他）

**【地域包括支援センター運営協議会 資料】**

- 1 地域支援事業－各事業の進捗について
- 2 地域ケアネットワーク推進協議会に関するアンケート調査結果中間報告
- 3 在宅緩和ケア推進事業について
- 4 令和元年度 第3回地域ケア推進会議結果
- 5 令和元年度 行事・活動実績

## 地域支援事業—各事業の進捗について

### 1 介護予防・日常生活支援総合事業

#### (1) 介護予防ケアマネジメント

- 介護支援専門員 1月から1名増員

#### (2) 一般高齢者介護予防事業

##### ① 介護予防教室「元気もりもり教室」

圏域	委託事業者	開催場所	説明会	評価会議	評価対象者 (要注意)	教室実施期間	参加人数
川西	東京ネバーランドえひめ	総合福祉センター	6/4	事前；6/24 事後；10/7	4人 (5人)	7/2～ 9/24	25人
上部西	新居浜医療福祉生活協同組合	中萩公民館	7/2	事前；7/31 事後；11/10	5人 (4人)	8/6～ 10/29	25人
上部東	ふたば会	船木公民館	9/4	事前；9/26 事後；1/20	9人 (2人)	10/2～ 12/25	24人
川東	愛媛医療生活協同組合	垣生公民館	10/2	事前；10/28 事後；2/13	5人 (3人)	11/6～ 1/29	23人

##### ② シルバーボランティア推進事業

登録者数

H30年度末登録者数	R1.12末新規登録	登録取下	再登録	登録累計
270人	23人	7人	1人	287人

##### ③ 健康長寿地域拠点づくり事業

ア 開設数

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1.12.1
拠点数(累計)	5	26	54	80	94
登録者数(累計)	103	518	1129	1593	1844(高齢者の4.8%)

- 開設検討中…磯浦

イ 周知啓発

- あらいさんとはまちゃんのPPK体操体験会 in イオンモール新居浜 1/26開催予定
- 元気もりもりシニアの交流会 3/7開催予定

#### ④ 地域リハビリテーション活動支援事業

##### ア 市民体操指導士養成講座

- モデル事業として各拠点から指導士に向いている人を個別に声かけで募集  
認定者 21人
- 講師；愛媛県リハビリテーション専門職協会・地域包括支援センター職員
- 開催時間；13:30～16:30
- 内容

開催日	場所	テーマ
10/30	別子銅山記念図書館	市民体操指導士の役割
11/6	別子銅山記念図書館	高齢者の身体機能と心理状況の確認
11/13	別子銅山記念図書館	セラバンドを使った筋力強化体操
11/20	総合福祉センター	PPK体操 身体状況に合わせた対応方法
12/4	別子銅山記念図書館	リスク管理・緊急時の対応方法
12/18	総合福祉センター	市民体操指導士のこれからの活動

##### ⑤ 生活個別指導事業（モデル実施）

- R1.12末現在 2名指導終了、5名指導実施中

## 2 包括的支援事業

### (1) 総合相談支援事業

大島地区ケアネットワーク推進協議会

健康長寿地域拠点について、大島連合自治会への委託契約を行い、PPK 体操、おおしま食堂、健康指導、物品販売を行っている。

参加者が少ない内容があり、世帯にチラシの配布、渡海船や船着き場にポスターを張るなどの広報活動を検討している。

### (2) 権利擁護事業

あらいさんとはまちゃんのにじいろケアポータルサイトにて、最近の消費者被害情報について定期的に更新しており、消費税増税での消費者被害等についての注意喚起を行った。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域ケア会議

##### ア 事例検討型

- 12 月末実績；新規 2 事例、振り返り 1 事例

##### イ ケアマネジメント支援型

- 12 月末実績；新規 27 事例、経過報告 25 事例
- 12/17 下半期振り返り会開催

##### ウ 地域ケア会議学習会（愛称；ハロプロ）

- 月 1 回開催

#### ② 地域ケア推進会議

- 12/24 開催 出席 10 名

#### ③ 介護支援専門員資質向上

##### ア 介護支援専門員連絡協議会

- 日常生活圏域別活動  
各圏域 3～4 回程度の学習会を実施中
- 役員会・部会  
役員会；12/12 市政懇談会ワーキンググループについて協議  
居宅部会；12/8 「あらいさんとはまちゃんのあんしんフェア」共催

##### イ 愛媛県介護支援専門員地域リーダー養成研修

- 活動テーマ；災害対策～防災意識を高めよう～
- グループインタビュー；8/26・27 介護支援専門員の防災意識について
- 3 市合同研修会；11/12 各市の活動を報告・グループワーク
- 県研究集会（わがまちの活動報告）；2/13 開催予定

## ウ 介護支援専門員研修会

- 2月26日開催予定

テーマ 「介護支援専門員が取り組む災害対策（仮）」

講師 岡山県介護支援専門員協会理事 小原 誠 氏

## (4) 認知症総合支援事業

### ① 認知症サポーター養成講座

- ・ 18か所 945人受講修了

1/27 新居浜警察署で講座予定

- ・ 認知症講演会 … 1/26 13:30~15:30 ウイメンズプラザにて開催予定  
講演と認知症カフェ、地域SOSの紹介

### ② 認知症カフェ

市内8か所・・・チラシ、ポータルサイトで広報中

### ③ オレンジネットワーク

- ・ 配信状況 (初回H28.7.21)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (~1/10)	合計
市内件数	6	4	11	6	27
市内回数	11	8	22	11	52
市外件数	6	2	6	17	31
市外回数	5	3	7	13	28

- ・ 見守り登録者 令和元年度 (~1/10) 新規20人、累計108人

- ・ 見守り協力機関 令和元年度 (~1/10) 新規1機関、累計170機関

### ④ 地域SOSネットワーク

- ・ すみの見守り・SOS ネットワーク … 11/10 文化祭にて検索模擬訓練  
11/16 11/23 12/18 寸劇公演  
10/29 新居浜FMにて活動内容アナウンス
- ・ 泉川見守り・SOS ネットワーク … 11/10 公民館まつりにて検索模擬訓練

### ⑤ 市政だより12月号に認知症特集8ページ掲載

十全ユリノキ院長や新居浜警察署生活安全課長の話、オレンジカフェ、認知症初期集中支援チーム等について

## (5) 在宅医療・介護連携推進事業

- ① 新居浜市在宅医療・介護連携推進連携協議会 … 第2回 1/29 開催予定
- ② 連携研修部会 … 第3回 12/4
  - ・ お薬手帳を活用した連携メモ  
配布状況確認（ケアマネ、薬局、介護福祉課認定係に配布）、  
薬剤師会より、お薬手帳に連携メモの掲載
  - ・ 在宅緩和ケアモデル事業の説明会 11/28  
連携・研修部会にて意見交換、実施する方向
  - ・ 事例検討会3月中旬に実施予定
- ③ 広報啓発部会 … 第3回 11/7
  - ・ イベント協議
  - ・ エンディングノートの作成 2月に完成予定、包括のページとして、ケアポータル  
サイトと連携メモについて掲載
- ④ あらいさんとはまちゃんの在宅医療・介護あんしんまるわかりフェアをウイメンズプラザにて開催。  
入場者123人  
内容 … 各組織ブース(体験しながら学べる内容)
  - <医師・訪問看護>医療相談
  - <歯科医師会>咀嚼機能検査、舌圧測定
  - <薬剤師会>おくすり・介護相談/おくすりのめていますか?
  - <リハビリテーション>自助具ってなあに?～見て・触って・作ってみよう～  
いつまでも美味しく楽しく安全な食事の工夫
  - <福祉施設>もしバナゲーム～縁起でもない話をもっと身近に～
  - <訪問介護>ヘルパー利用のお気軽相談
  - <保健師>体験コーナー「簡単脳トレに挑戦」「脳年齢測定」
  - <消防>救急のVTR上映

… モデルルームを使ったセミナー(実演を交えた内容)

  - <リハビリテーション>まるわかり「食べにくい」「飲み込みにくい」のなぜ?  
～言語聴覚士がお答えします～  
もっと楽に起きて・立って・歩いてみよう  
～理学療法士から伝えたいこと～
  - <介護支援専門員>介護劇「はまちゃんが歩けなくなった。どうしよう…」の巻
  - <歯科医師会>在宅診療における歯科診療の風景  
(むし歯治療～入れ歯修理・作成)  
在宅診療における歯科診療の風景(口腔ケア)
  - <訪問看護>在宅での吸引方法、経管栄養の方法など
  - <薬剤師会>オブラート、服薬ゼリーの使い方
  - <消防>救急車が到着するまでにできること

## (6) 生活支援体制整備事業

### ① 健康長寿コーディネーター活動

- 健康長寿地域拠点づくり事業推進のため、世話役発掘や運営支援を実施
- 研修参加 8/26 生活支援コーディネーター養成講座（県主催）  
9/9・10 いきがい・助け合いサミット in 大阪（さわやか財団主催）
- コーディネーター会；毎月2回定例開催。  
第2層協議体支援、拠点支援等について協議

### ② 第2層協議体

- 多喜浜（ケアネットワーク併設）；参加者の「気づき・発見」による地域情報マップ作成、共有中
- 金栄（ケアネットワーク併設）；ボランティア活動の継続における課題について検討中
- 大生院（ケアネットワーク併設）；見守り推進員の情報交換をもとに地域課題を協議
- 船木（支部社協役員会）；ごみ問題から地域の助け合い活動を協議
- 別子（ケアネットワーク併設）；個別課題協議や関係人口に関する情報等調査、模索中
- 大島（ケアネットワーク併設）；大島版健康長寿地域拠点づくりにむけて協議中

# 在宅緩和ケア推進事業について

# 最近の死亡率の現状

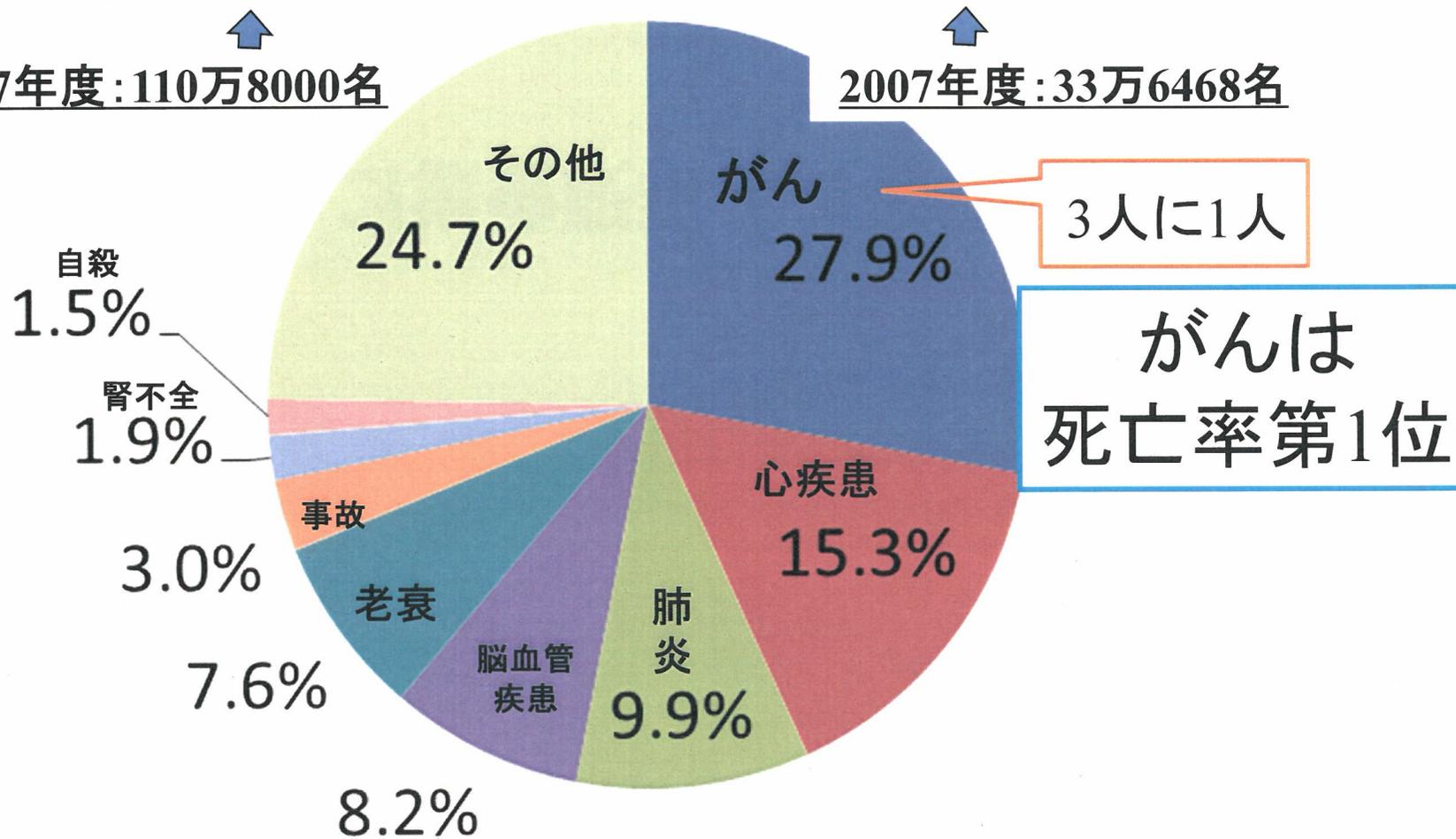
## 日本人の死亡割合(%) (2017年度)

総死亡数: 134万397名

がん死亡数: 37万3334名

2007年度: 110万8000名

2007年度: 33万6468名



# 愛媛県がん対策推進条例

がん対策基本法の趣旨を踏まえ、すべての県民が生命を尊重する良心に基づき、温かみのある適切ながん対策を推進することにより、**がんになってもお互いに支え合い、安心して暮らしていける地域社会を実現することを決意し、この条例を制定する。**

2010年4月1日から施行

# 愛媛県在宅緩和ケア推進協議会

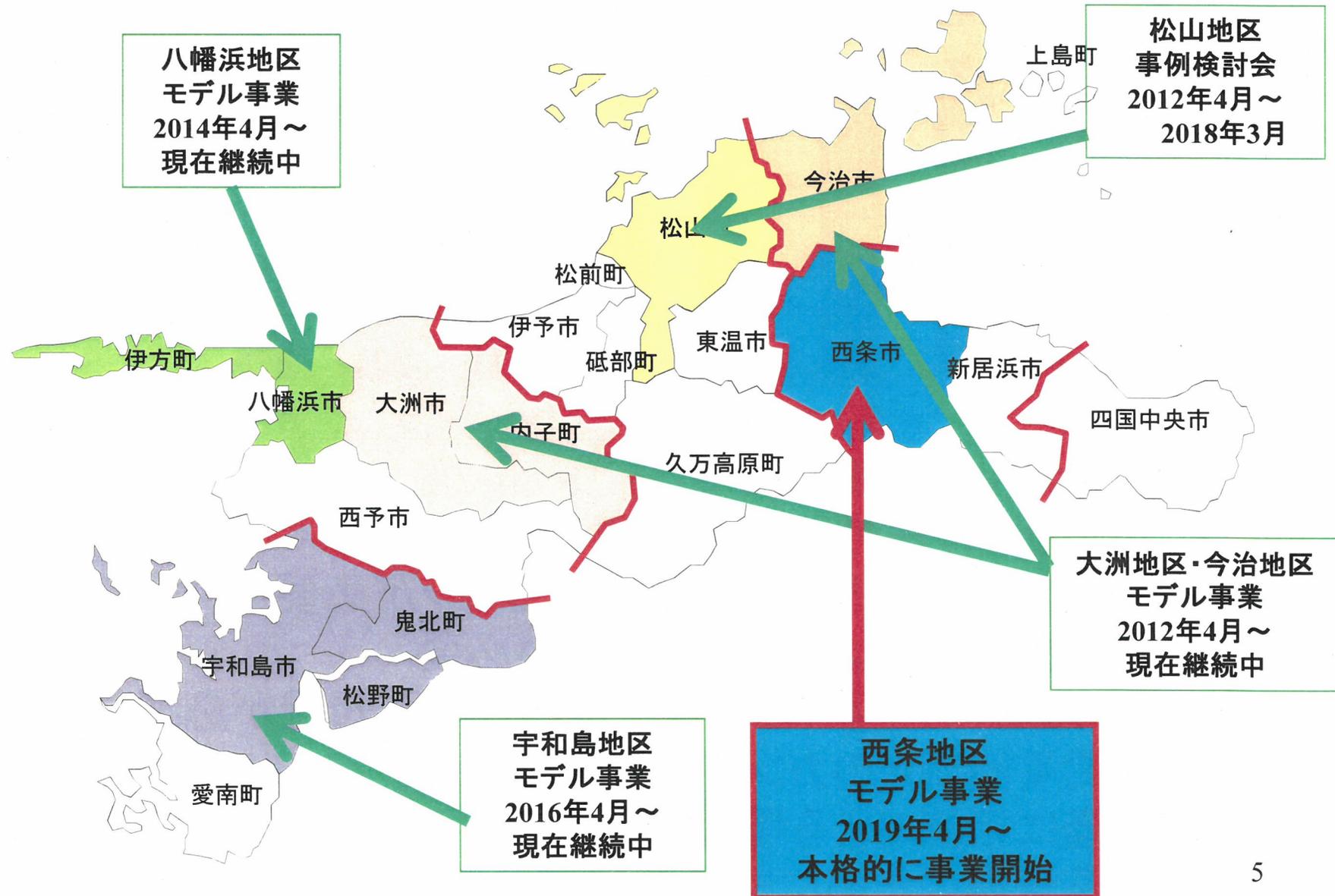
設立：2011年8月

目的：居住地域や病期に関わらず、苦痛なく安心して『家で過ごしたい』と願う患者とその家族の思いを叶えるために、愛媛における在宅緩和ケアの支援体制の確立を目指す。

事業内容：

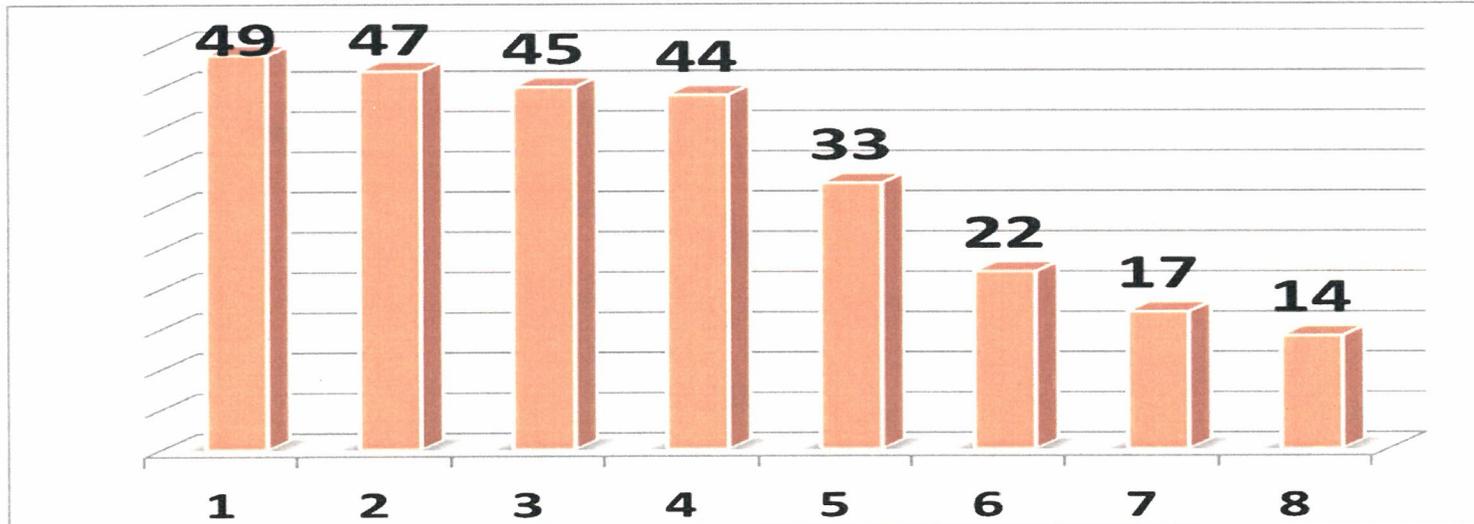
在宅緩和ケア推進のための  
モデル事業の立ち上げと実践

# 愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業の実施地域



# 在宅療養支援診療所アンケート調査

在宅緩和ケアに取り組む上で必要なこと

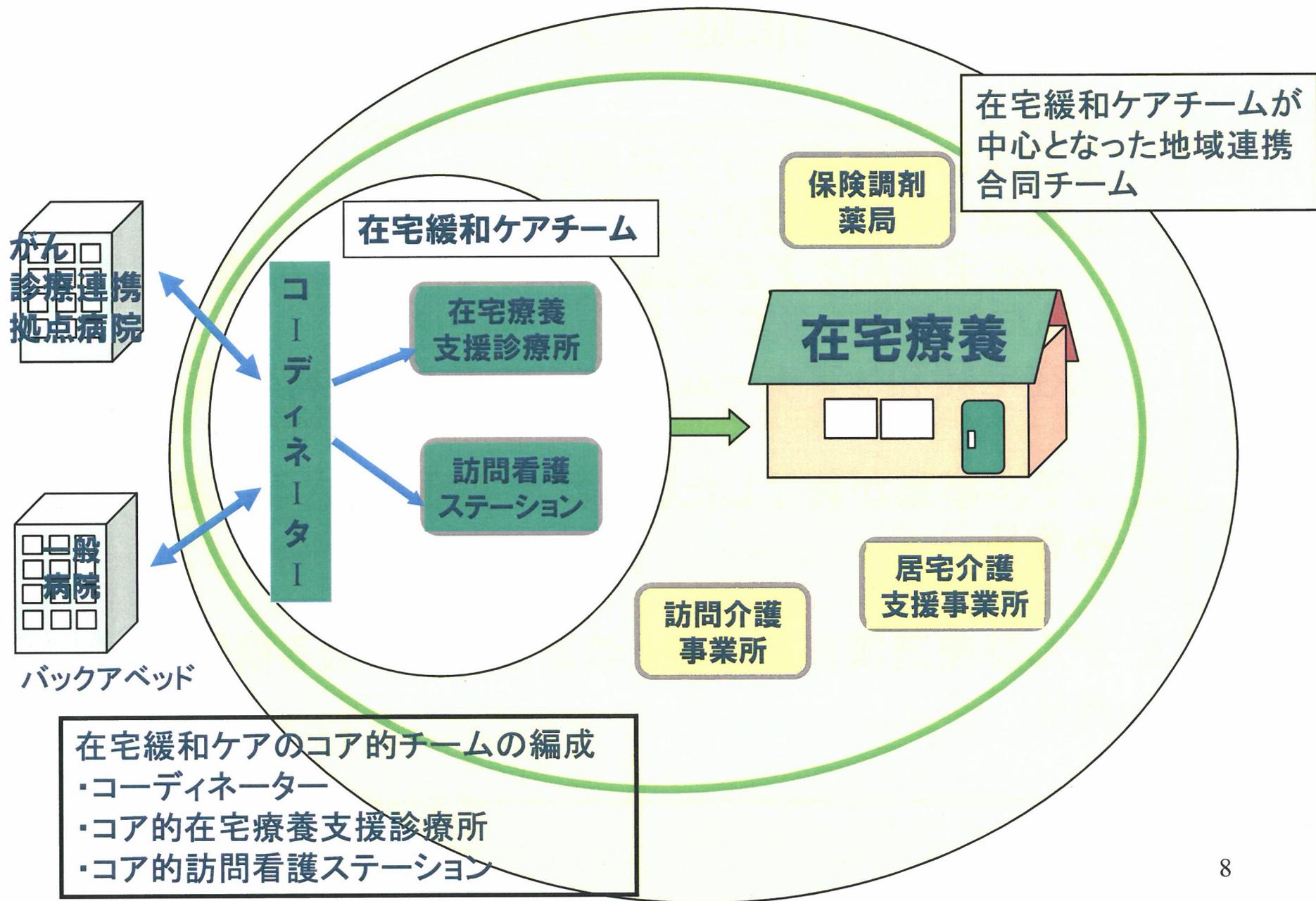


1. バックベッドの病院が必要
2. かかりつけ医の連携が必要
3. 24時間対応の訪問看護ステーションが必要
4. 麻薬を使いこなす知識と技術が必要
5. 痛み以外の症状コントロールのための知識が必要
6. 訪問看護師とのカンファレンスが必要
7. 気軽に相談できる場所が必要
8. 麻薬管理のために24時間対応の調剤薬局が必要

# 在宅緩和ケア推進モデル事業の目的

1. 質の高い在宅緩和ケアの提供
  - ①地域での在宅緩和ケア拠点の整備
    - ・在宅緩和ケアを実践するコア的チームの整備
    - ・年間看取り数の向上
  - ②在宅緩和ケアチームスタッフの教育・人材育成
2. モデル事業が終了した後も事業を継続できる仕組み作り
3. がん診療連携拠点病院との連携強化を図る構築作り

# 在宅緩和ケア推進のためのモデル図



## 令和元年度 第3回地域ケア推進会議結果

日 時	令和元年12月24日（火） 13：00～15：30
場 所	市役所53会議室
目 的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域課題を検討し、地域の資源を開発したり政策の立案・提言案をまとめたりする。
方 法	平成30年度に実施した地域ケア推進会議では、「認知機能の低下により、日常生活に支障が生じている」について検討し、それに対する具体策案と実行する事業担当を決定した。本会では、その進捗について報告する。
出席者	伊達所長、佐々木副所長、越智副所長、篠崎、片山、高橋、横川、石川、奥平、佐崎
経過報告した地域課題	認知機能の低下により、日常生活に支障が生じている
目指す姿	認知症になっても暮らしやすい生活環境が整う

### 結 果

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
<b>①SOSネットワークについて</b>				
1) 地域SOSネットワーク立ち上げをサポートする ・地域の中心的人に認知症についての正しい知識を普及すること、認知症講演会を行うこと、小・中・高校生への認知症サポーター養成講座を実施することを強化し、地域の主体的なSOSネットワーク立ち上げにつなげる。	認知症 総合支 援事業	・令和元年度も市民向けに「第2回認知症講演会（1/26）」を開催予定。”認知症の人、その家族を地域で支えていくためには”を今回のテーマにしており、市内オレンジカフェ、地域SOSネットワークに展示のみではなく、トークセッションに参加してもらいアピールの場を設ける。 ・地域SOSは、現時点で「やりたい」と声をあげる校区はないので、立ち上げには至っていない。	・小中高校生への認知症サポーター養成講座は、平成30年度は小学校8校、中学校5校、高校2校で実施した。今年度は小学校9校、中学校3校、高校2校で実施した。 ・地域SOSネットワークで模擬検索訓練をしていることを、地域SOSネットワーク外の校区にも情報提供してはどうか。それによって地域の人の「私の校区でもやりたい。」という思いを引き出せるのではないかと。 ・地域SOSネットワークが広がっていない原因はどこにあるのか。市政だよりを読んでいない市民も多い。その一方で行方不明者情報には関心が強い人が多く、地域で「あの人は無事に見つかったのか？」と聞かれることも多い。地域ケアネットワーク推進協議会等の機会を活用して地域の中心的人に、地域SOSネットワークの良さをアピールする必要があるのではないかと。地域の主体性に任せて待っていても、地域SOSネットワークは広がらないのではないかと。	・今後も認知症講演会を定期的に開催する。 ・今後も小・中・高校生への認知症サポーター養成講座を実施する。 ・地域SOSネットワークを実施していない校区の人に、地域SOSネットワークで取り組んでいる内容や魅力についての情報を提供する。 ・地域ケアネットワーク推進協議会等の機会を活用して地域の中心的人に、地域SOSネットワークの良さをアピールする。
2) オレンジネットワーク（新居浜市認知症高齢者見守り事業）と地域SOSネットワークの連携のあり方を検討する	認知症 総合支 援事業	・すみの見守りSOSネットワーク協議会は、ふれあいサポーター157名に対して、9/12メール配信テストを実施した。問題なく終了しているが、検索模擬訓練でも同様のテストを行い、校区内での情報配信の在り方について検討する。 ・泉川見守りSOSネットワーク協議会は、今年度より検索模擬訓練を行う予定（3/1）であり、すみの同様にあいサポーターへのメール配信を行う予定にしている。 ・オレンジネットワークでは、11/26泉川校区在住の認知症高齢者の行方不明が発生しているため、連携の在り方について検討していく。また、係内でも協議予定。	・すみの見守りSOSネットワーク、泉川見守りSOSネットワーク共に、認知症高齢者の行方不明が発生した時には、家族は警察に連絡すると同時に地域SOSネットワーク事務局にも連絡することになっているが、11月26日に発生した泉川校区在住の認知症高齢者の行方不明では、家族が警察には連絡したが、地域SOSネットワークには連絡していなかった。そこで、地域SOSネットワークがある校区で認知症高齢者の行方不明が発生し、警察から地域包括支援センターに連絡が入った時には、地域包括支援センターから地域SOSネットワーク事務局に行方不明高齢者発生時の連絡をすることにした。 ・すみの見守りSOSネットワーク、泉川見守りSOSネットワーク共に、家族が認知症高齢者の行方不明が発生した時にどこに連絡すればよいのか、十分に理解していないところがある。見守り登録時に家族に対して分かりやすく説明できるように配布物を準備している。	・地域SOSネットワークがある校区で認知症高齢者の行方不明が発生し、警察から地域包括支援センターに連絡が入った時には、地域包括支援センターから地域SOSネットワーク事務局に行方不明高齢者発生時の連絡をすることにした。 ・すみの見守りSOSネットワーク、泉川見守りSOSネットワーク共に、家族に対して、認知症高齢者の行方不明が発生した時にどこに連絡すればよいのか分かりやすく説明できるように配布物を作成する。

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
3) 地域SOSネットワークへの支援 ・泉川見守りSOSは、組織の基礎的な体制の確立に向けて支援する。	認知症 総合支 援事業	・泉川見守りSOSネットワーク協議会は、会長、事務局長が主体となって活動しているので、他の委員もコアメンバーとなってもらえるように事務局と一緒に働きかけを行っていく。 ・捜索模擬訓練をするにあたっては、実行委員会（地域住民を主とした）を立ち上げ、活動について検討しているので、継続的に支援を行う。	質問・意見なし。	・泉川見守りSOSネットワーク協議会は、会長・事務局長が主体となって活動しているので、他の委員もコアメンバーとなってもらえるよう事務局と一緒に地域包括支援センターも働きかけを行う。 ・捜索模擬訓練をする時に立ち上げる地域住民を主とした実行委員会への支援を継続的に行う。
4) オレンジネットワークの課題解決と発展を目指す ・平日の行方不明者情報の配信は、相談支援係を中心に確実に実施できるようにする。 ・休日の行方不明者情報の配信は、関係者間の連携体制を見直す。 ・SOS協力者や協力機関には、認知症の人に対する声かけの方法を周知することや、認知症サポーター養成講座を受講してもらうよう勧める。 ・12月15日の認知症講演会で実施したアンケートで、「協力できる」と回答した人にSOS協力者になるよう呼びかける。 ・情報発信に、ケアポータルサイトを活用する。	認知症 総合支 援事業	・平日の行方不明者情報の配信については、相談支援係を中心に対応できるようマニュアルに沿って説明を実施した。 ・休日の連携体制については、時間の制約もあるため、他市も参考にしながら、見直していく。	・行方不明高齢者発生時の情報配信マニュアルを修正し、最新版を作成中である。 ・愛媛県のオレンジネットワークを利用した行方不明高齢者の情報配信について依頼方法や依頼できる対象の範囲を確認中である。 ・オレンジネットワークの協力機関に認知症サポーター養成講座を受講してもらうよう勧めることはできていないが、1月26日に開催する認知症講演会の案内についてはできている。	・平日の行方不明者情報の配信については、相談支援係を中心にマニュアルに沿って対応できるようにする。休日については、時間の制約もあるため、他市も参考にしながら、見直していく。 ・必要に応じて愛媛県のオレンジネットワークを利用する。 ・オレンジネットワークの協力機関に認知症講演会の案内を行う。
<b>②認知症の人が安心して外出できる環境の整備について</b>				
1) 店舗対象の認知症サポーター養成講座を実施する 認知症サポーター養成講座を受講してもらうことが望ましい業種を選定し、包括から、開催に向けたアプローチを行う。	認知症 総合支 援事業	・令和元年度は、銀行（伊予銀行、愛媛銀行、JA）に働きかけを行い、2カ所で実施した。 ・来年度以降の受講してもらうことが望ましい企業を検討し、働きかけを行う。	・伊予銀行、愛媛銀行に対して認知症サポーター養成講座を実施した。講座を実施する前に、日々の業務の中で認知症ではないかと思われる客の対応で困ったことを聞き取った。その結果をもとに講座資料を作成した。グループワーク中心で包括が事例を提示し、それに対する関わり方を考えてもらった。今後、業務の中で実際に遭遇しそうな状況を設定したロープレも行い、「こんな時、どのように対応すればよいか。」を考えてもらった。銀行の研修担当者によると、日頃から、認知症ではないかと思われる客（通帳の再発行等に何度も来店するなど）の対応に困っている現状があるとのこと。今回の講座は、業務の一環として受講してもらった。窓口業務の職員には概ね受講してもらえた。認知症が疑われる客がいた時には、地域包括支援センターに連絡して欲しいことを伝えた。 ・市営住宅の管理組合に対して認知症サポーター養成講座を実施した。講座を実施する前に、日々の業務の中で認知症ではないかと思われる客の対応で困っていることを確認し、それが解消されるような内容にした。DVDを使用して、対応方法を教えた。 ・企業等に認知症サポーター養成講座を実施する時には、事前にどのようなことを知りたいか要望を聞き取り、それに寄り添った内容を行うようにしている。	今後も受講してもらうことが望ましい企業を検討し、働きかけを行う。

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
<p>2) バスを使った外出方法を学ぶ機会を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室の参加者で、送迎を希望する人には、バスを利用して会場まで来るよう促す。バス利用時に、シルバーボランティアが付き添いを行えないか検討する。</li> <li>・今年度の介護予防教室の参加者のうち、送迎を希望した人の自宅周辺の交通網の分析を行う。</li> <li>・高齢者が多く参加する認知症サポーター養成講座で、バスを利用するよう呼びかける。</li> </ul>	<p>介護予防係 認知症総合支援事業</p>	<p>【介護予防係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度介護予防教室の参加者97人中、心身機能の低下がないが送迎を利用していた17人についてバスが活用できないか検討した。バス停から教室会場（公民館）へのアクセスの悪さ、乗り継ぎが必要で時間や労力がかかりすぎる、などの理由でバス利用が可能な人は4名程度であった。令和2年度からは、教室で公共交通機関の活用は啓発するが、利用については個別に利用モデルを提示して個人が選択できるようにする。</li> <li>・バス利用時に、シルバーボランティアが付き添いを行えないかについては、シルバーボランティア登録者にアンケートを実施しその結果から検討する。</li> <li>・健康長寿地域拠点事業継続支援で、令和2年度からは公共交通機関の利用について学べる講座を設ける。</li> </ul> <p>【認知症総合支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座でバスの利用などの積極的な促しは十分行えていない。</li> <li>・免許返納について、9月より「要望書受理制度」が開始し、包括へ相談の流れができている。そのような事例も増えることが考えられるので、係で対応について確認を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「要望書受理制度」は、運転免許の返納又は取り消し処分によって移動手段を失った高齢者が速やかに地域包括支援センター等からの生活支援を受けられるよう、高齢者本人から、市担当者への連絡を要請する文書（要望書）を警察が受理し、市の担当者へ連絡を行うものである。新居浜市ではまだ制度利用の実績はない。愛媛県内では2件程度である。新居浜市は公共交通機関が発達していないため、相談を受けても紹介できる社会資源に限りがあるというのが実際の所である。</li> <li>・要望書受理制度を利用して相談される内容は、社会資源に関することが中心になると思われるため、どのような相談があったかは、課内で共有してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は介護予防教室で公共交通機関の活用について啓発する。教室参加者ごとに公共交通機関利用モデルを提示する。</li> <li>・バス利用時に、シルバーボランティアが付き添いを行えないか、シルバーボランティア登録者にアンケートを実施しその結果から検討する。</li> <li>・令和2年度からは、健康長寿地域拠点事業継続支援で、公共交通機関の利用について学べる講座を設ける。</li> <li>・「要望書受理制度」で相談される内容を、課内で共有する。</li> </ul>
<p>3) 支援に繋がっていない認知症高齢者を早期に把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアバス、ケアポータルサイトを活用する。</li> <li>・店舗等に直接知らせる方法を検討する。</li> </ul>	<p>認知症総合支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する相談窓口については、市政だより12月号で掲載後、反響があった。関心を持ってみてくれているようである。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を受講している企業には、講座の中で認知症に関する相談窓口についてお伝えしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより12月号に認知症の特集を掲載したことで、市民から認知症に関する質問や相談を受ける機会が増えた。市民に関心を持ってもらえるいい機会になったと思う。</li> <li>・認知症に関する相談先を周知することや、市が取り組んでいる認知症施策を伝えることが、支援につながっていない認知症高齢者を早期に把握することに繋がると思う。</li> <li>・日々、相談対応している職員の感覚では、市内には支援に繋がっていない認知症高齢者はまだまだいると思われる。今はどうにか地域で生活できているが、わずかなぎっかけでたちまち支援が必要になるような人がいると思われる。支援が困難になる前に早期に介入したいが、そのような人がすんなり支援を受け入れてくれるかは疑問である。</li> <li>・支援が必要な高齢者の発掘方法を考えることが必要である。民生委員や見守り推進員の会に出席すれば、支援が必要な人を早期にキャッチすることができるのではないか。</li> <li>・地域ケアネットワーク推進協議会で、支援に繋がっていない高齢者についての協議ができれば良いと思うが、校区によってはそのような話が難しいところもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に対して認知症サポーター養成講座を実施する時には、認知症に関する相談窓口を伝える。</li> <li>・民生委員や見守り推進員の会に出席し、支援に繋がっていない認知症高齢者を早期に把握する。</li> </ul>

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
4) ケアマネジャーや家族から地域に、認知症高齢者に関する情報を提供できるようなルールを作る 認知症高齢者に関する情報を地域で共有したい時には、事例検討型地域ケア会議を実施する。個別の事例を積み上げ、ニーズを見極めた上でルール化する。	認知症 総合支 援事業	現在、地域や関係者より認知症高齢者の情報を地域で共有したいというニーズは特になし。個別の事例から必要時ルール化することとなっていたが、現在必要なし。	・事例検討型地域ケア会議で協議した認知症に関するケースは、「認知症のために生活が破綻」していたり、「家族の理解が得られないために支援が困難」なケースが中心となっている。認知症高齢者に関する情報を地域で共有したいといったニーズは把握していない。 ・ケアマネジャーが事例検討型地域ケア会議開催に消極的である。ケアマネジャーにとって事例検討型地域ケア会議は面倒であることという思いや、自分のケースにあれこれ言われることが嫌だという思いから嫌悪されているようである。事例検討型地域ケア会議の名称を、身近に感じられるようなものに変更したり、提出書類を軽減するなどの工夫が必要ではないか。 ・地域に認知症高齢者に関する情報を提供できる媒体があれば、助かる人もいないのではないかと思う。それがないために、介護保険サービスを過剰に利用している側面もあると思う。	・認知症高齢者に関する情報を地域で共有したい時には、事例検討型地域ケア会議を実施する。個別の事例を積み上げ、ニーズを見極めた上でルール化する。 ・事例検討型地域ケア会議の名称を変更したり、提出書類を軽減するなど、ケアマネジャーに気軽に開催してもらえよう工夫をする。
<b>③認知症サポーターの活躍の場について</b>				
1) 認知症の人の外出支援を行ってもらう 2) 認知症の人と一緒に生活活動を行ってもらう 現状では対応が困難である。	認知症 総合支 援事業	チームオレンジ（第2ステップ）については、今後検討する。	・認知症サポーター養成講座は、第1ステップは認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターになることであり、第2ステップは認知症サポーターが認知症についての知識をさらに深め、地域で認知症の方やその家族を支えることができるようになることである。国は、「認知症サポーターが活躍する場を整備すること」としている。他市の取組を参考に、新居浜市でも今後取り組む予定にしている。	・認知症サポーターが活躍する場を整備する。
3) オレンジカフェ等で傾聴ボランティア活動を行ってもらう 平成30年12月15日の認知症講演会で実施したアンケート結果を基に、展開していく。	認知症 総合支 援事業	・各オレンジカフェに相談員の役割を果たす人材もいるので、傾聴ボランティアのニーズを確認する。 ・昨年度の認知症講演会のアンケート結果を基にした展開が十分に出来ていないのが現状であり、今年度もアンケート結果をどのように扱うか係内で検討する。	質問・意見なし。	・各オレンジカフェに傾聴ボランティア訪問のニーズを確認する。 ・今年度の認知症講演会のアンケート結果をどのように扱うか、認知症総合支援事業係内で検討する。
4) シルバーボランティアへ登録してもらう ・認知症サポーター養成講座の受講者が高齢者の時には、シルバーボランティア推進事業のチラシを配布する。 ・シルバーボランティア登録時の事前研修で、認知症について学ぶ部分の内容を、認知症総合支援事業担当者と共に検討する。 ・シルバーボランティアに登録している人に認知症サポーター養成講座を周知し、受講してもらう。	認知症 総合支 援事業  シル バーボ ラン ティア 推進事 業	【シルバーボランティア推進事業】 ・認知症総合支援事業担当者と相談できていない。今後、認知症総合支援事業担当者と相談し、内容を決定していきたい。	・認知症サポーター養成講座受講者にシルバーボランティア推進事業のチラシを配布することはできると思う。平成30年度には、認知症講演会受講者にボランティア活動について紹介した。そのうちの何人かが介護相談員になってくれた。 ・チームオレンジ（第2ステップ）の活動は、シルバーボランティアの「ポイント対象となる活動」に含まれると思う。それによって取り組む動機の強化にも繋がると思う。	・認知症サポーター養成講座の受講者が高齢者の時には、シルバーボランティア推進事業のチラシを配布する。 ・シルバーボランティア登録時の事前研修で、認知症について学ぶ部分の内容を、認知症総合支援事業担当者と共に検討する。 ・シルバーボランティアに登録している人に認知症サポーター養成講座を周知し、受講してもらう。 ・チームオレンジ（第2ステップ）の活動を、シルバーボランティアのポイント対象活動とする。

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
5) 介護相談員として活動してもらう 平成30年12月15日の認知症講演会で実施したアンケート結果を基に、対象者に呼びかける。	認知症 総合支 援事業  介護相 談員派 遣事業	介護相談員（第10期）募集時に、昨年度の認知症講演会アンケートをもとに募集ハガキを送付した。	質問・意見なし。	今後も介護相談員を募集する時には、認知症講演会アンケートの結果を基に募集ハガキを送付する。
<b>④第2層協議体で認知症についての話題を取り入れることについて</b>				
1) 第2層協議体で認知症についての話題を取り入れる 2) 第2層協議体の立ち上げに向けて、認知症高齢者の抱える地域課題について呼びかける 2層協議体で認知症についての話題を取り入れる。	生活支 援体制  整備事 業	大生院校区や別子校区といった高齢化率が高い校区では認知症についての関心も高く、話題として上がっている。その他の校区は現在、他の話題が中心となっているが、話し合いが進めば認知症についての話題も取り上げられるかもしれない。	意見・質問なし。	大生院校区や別子校区といった高齢化率が高い校区では認知症についての関心も高く、話題として上がっている。その他の校区は現在、他の話題が中心となっているが、話し合いが進み認知症についての話題が取り上げられたタイミングで議論を深める。
<b>⑤認知症高齢者を介護している家族が認知症について学べる機会を作ることについて</b>				
1) 認知症高齢者の介護をしている家族が認知症について学ぶ教室を開催する ・オレンジカフェはびねすが行う勉強会に包括職員も協力する。 ・家族教室については、平成32年度以降に実施するかどうかも含めて検討する。	認知症 総合支 援事業	・オレンジカフェはびねすは、毎月勉強会を実施している。参加者の声も聴き、ニーズに合わせた内容を取り入れている。 ・家族教室については検討できていない。	・オレンジカフェはびねすでは、毎月はびねす系列の職員が勉強会を開催している。地域包括支援センター職員は、はびねすからの要請に応じて講師をすることもある。 ・市内のオレンジカフェのうち、勉強会をしているのは、はびねすのみである。他のオレンジカフェでは、座談会、食事会、体操、当事者の思いの共有といったことを中心に行っている。はびねすで勉強会を行っていることを、他のオレンジカフェにも情報共有すればよいのではないか。 ・今年度の認知症講演会を考えるにあたり、オレンジカフェの代表者に集ってもらい方向性を協議した。その際に、「このような市内のオレンジカフェのスタッフが集まる場があるととても良い。」と言っていた。今後は、1年に1回程度、市内のオレンジカフェが集まり、現状や困っている事等の相談・情報交換を行う連絡会を開催する予定にしている。市内のオレンジカフェ同士で情報交換が活発に行われることで、オレンジカフェ内で認知症高齢者を介護している家族が認知症について学べるような機会を作ろうという意見が出る可能性もある。	・オレンジカフェはびねすが行う勉強会に地域包括支援センター職員も協力する。 ・1年に1回程度、市内のオレンジカフェが集まり現状や困っている事等の相談・情報交換ができる連絡会を開催する。 ・オレンジカフェはびねす以外のカフェでも認知症について学べるような機会が創出できるよう促す。

平成30年12月19日（水） 地域ケア推進会議決定事項		第3回地域ケア推進会議 結果		
今後の方針	担当	進捗報告	協議内容（要旨）	今後の方針
2) オレンジカフェを充実させ、認知症高齢者の介護をしている家族が、認知症についての理解を深められる場にする ・相談支援係内で、誰がどのオレンジカフェに何をしに行くかを明確にし、定期的に訪問する。 ・オレンジカフェを訪問した包括職員が、家族の人から表出された感情に寄り添った形で助言を行うことで、家族が認知症についての理解を深められるよう支援する。 ・オレンジカフェのチラシ配布による効果について分析する。	認知症総合支援事業	・今年度から、オレンジカフェが新たに3カ所立ち上がり、市内オレンジカフェ8カ所に相談支援係、CM、コーディネーターが見学に行っている。参加する職員間の情報共有ができていないので、目的を明確にして見学にいくよう検討する。 ・オレンジカフェのチラシについては、今年度に修正予定。オレンジカフェの新規参加者にどのような経緯でカフェを知ったか確認すると、CMからの紹介（相談窓口も）や、チラシを見てという方がいた。 ・チラシを配布している箇所や、オレンジカフェの新規参加者の有無、参加者がどのような経緯でカフェを知ったのかを確認した。	・相談支援係は、定期的にオレンジカフェに訪問できていない。健康長寿コーディネーターは校区の社会資源を把握するために1度訪問した。	相談支援係内で、誰がどのオレンジカフェに何をしに行くかを明確にし、定期的に訪問する。
3) 高齢者が認知症全般について学べる介護予防講座を実施する ・介護予防教室で、認知症について取り上げる回を設ける。 ・健康長寿地域拠点で、要望に応じて認知症サポーター養成講座を実施する。 ・健康長寿地域拠点で、認知症に関する講演会等の情報を周知する。 ・地域リハビリテーション活動支援事業で作成中の、健康長寿地域拠点マニュアルに、認知症と思われる参加者への対応方法を盛り込む。 ・健康長寿地域拠点で実施する介護予防講座の内容に「認知症について」も盛り込む。	介護予防係	・令和元年度の介護予防教室から、全13回のプログラムのうち、3回を認知症について学習できる内容にしている。 ・健康長寿地域拠点で1年6か月の初期支援期間が終了する時に、出前講座の一覧表を渡す。（認知症サポーター養成講座やデマンドタクシーについて学べる講座があることを周知する）。 ・健康長寿地域拠点で、令和元年度の認知症講演会のチラシを配布し周知した。 ・PPK体操ガイドライン（令和元年7月発行）に認知症と思われる参加者への対応方法を掲載した。 ・健康長寿地域拠点継続支援の介護予防講座に、認知症についての内容を盛り込み実施している。	・今年度実施した市民体操指導士養成講座でも認知症について学ぶ回を設けた。	・令和2年度の介護予防教室でも認知症について学習できる回を盛り込む。 ・健康長寿地域拠点で1年6か月の初期支援期間が終了する時に、出前講座の一覧表を渡し、認知症サポーター養成講座やデマンドタクシーについて学べる講座があることを周知する。 ・健康長寿地域拠点で、認知症講演会のチラシを配布し周知する。 ・市民体操指導士養成講座で認知症について学ぶ回を設ける。
<b>⑥地域包括ケア構想の整理について</b>				
課全体で検討する				本会議の議題の一つとして取り上げるには非常に大きい。第8期介護保険事業計画と併せて別の機会に協議する。

## 今後の予定

①「認知機能の低下により、日常生活に支障が生じている」以外の地域課題については、解決に向けて各担当で取り組む。課題解決に向けた方向性がつけづらいついものは、優先順位をつけ今後の地域ケア推進会議で協議する。各自で自分の担当以外の地域課題についても進捗状況を確認し、質問や意見があれば担当に伝える。

②3月に開催する第4回目の地域ケア推進会議では、新たな新居浜市の地域課題について協議することとする。それに先立ち、各事業で抽出された地域課題を集約する。各事業担当者は、2月14日（金）までに各事業から抽出された地域課題を地域課題整理表（庁内LANパソコン：地域包括支援センターフォルダ→包括共有フォルダ→R1.地域課題整理表-Excel、基幹システムパソコン：地域包括支援センター→R1.地域課題整理表-Excel）に入力する。

# 令和元年度 行事・活動実績

10月	業務
1 火	元気もりもり教室上部西 10回目 元気もりもり教室川東 初回
2 水	元気もりもり教室上部東 2回目 第2回地域包括支援センター運営協議会
3 木	泉川搜索模擬訓練コア会
4 金	保健師会
5 土	
6 日	
7 月	入所判定委員会 元気もりもり教室川西 終了時評価会議
8 火	元気もりもり教室上部西 11回目 PPK事前打ち合わせ（救生東） 相談支援係会
9 水	元気もりもり教室上部東 3回目 すみの見守り・SOSネットワーク協議会
10 木	認知症サポーター養成講座 福祉連携協議会
11 金	介護相談員担当者会 権利擁護係会 介護予防係会 宮西ケアネットワーク推進協議会
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	認知症事業係会 ランチ連絡会 元気もりもり教室上部西 12回目 地域ケア学習会
16 水	
17 木	認知症サポーター養成講座
18 金	
19 土	
20 日	
21 月	泉川見守り・SOSネットワーク協議会 多喜浜ケアネットワーク推進協議会
22 火	
23 水	元気もりもり教室上部東 4回目 地域ケア会議
24 木	認知症サポーター養成講座 ケアマネジメント係会
25 金	認知症サポーター養成講座
26 土	
27 日	
28 月	介護予防係会 介護相談員交流会 認知症集中支援チーム会議 元気もりもり教室川東 初回評価会議
29 火	元気もりもり教室上部西 13回目 新居浜ケアネット
30 水	元気もりもり教室上部東 5回目 PPK最終（長野） PPK最終（西泉） 市民体操指導士養成講座
31 木	

11月	業務
1 金	元気もりもり教室上部西 終了時評価会議打合
2 土	
3 日	
4 月	
5 火	権利擁護係会 相談支援係会 PPK最終 馬淵
6 水	元気もりもり教室上部東 6回目 元気もりもり教室川東 2回目 市民体操指導士養成講座
7 木	第3回在宅介護・医療連携 広報・啓発部会 愛媛労災病院地域医療連携懇話会及び意見交換会 介護相談員担当者会
8 金	介護予防係会 認知症サポーター養成講座
9 土	認知症サポーター養成講座
10 日	認知症サポーター養成講座
11 月	PPK最終 新須賀
12 火	簿冊監査 すみの見守り・SOSネットワーク協議会 PPK初回 救生東
13 水	元気もりもり教室上部東 7回目 元気もりもり教室川東 3回目 市民体操指導士養成講座
14 木	地域ケア事前会議 市民体操指導士養成講座
15 金	元気もりもり教室上部西 終了時評価会議
16 土	
17 日	
18 月	神郷ケアネットワーク推進協議会 PPK体験 磯浦
19 火	認知症事業係会 ランチ連絡会 地域ケア学習会
20 水	元気もりもり教室上部東 8回目 元気もりもり教室川東 4回目 市民体操指導士養成講座
21 木	住友病院在宅医療介護勉強会・意見交換会 泉川見守り・SOSネットワーク協議会
22 金	
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	元気もりもり教室上部東 9回目 元気もりもり教室川東 5回目 PPK最終 東田
28 木	地域ケア会議
29 金	ケアマネジメント係会
30 土	

12月	業務
1 日	
2 月	垣生ケアネットワーク推進協議会 PPK 新須賀 PPK 浮島
3 火	市民体操指導士養成講座事前打ち合わせ 元気もりもり教室上部東 10回目 元気もりもり教室川東 6回目
4 水	市民体操指導士養成講座 第3回在宅医療・介護連携推進事業 連携・研修部会 若宮ケアネットワーク推進協議会
5 木	認知症サポーター養成講座
6 金	
7 土	
8 日	
9 月	
10 火	権利擁護係会 相談支援係会 元気もりもり教室上部東 11回目 元気もりもり教室川東 7回目
11 水	泉川見守り・SOSネットワーク協議会 コア会議 地域ケア事前会議
12 木	別子山健康相談 介護相談員担当者会
13 金	介護予防係会
14 土	
15 日	
16 月	PPK最終 江口
17 火	認知症事業係会 ランチ連絡会
18 水	元気もりもり教室上部東 12回目 元気もりもり教室川東 8回目 市民体操指導士養成講座
19 木	泉川見守り・SOSネットワーク協議会 実行委員会 市民体操指導士養成講座 認知症サポーター養成講座
20 金	泉川見守り・SOSネットワーク推進協議会 大生院ケアネットワーク推進協議会 高津ケアネットワーク推進協議会
21 土	
22 日	
23 月	介護相談員交流会 多喜浜ケアネットワーク推進協議会
24 火	第4回新居浜市保健師研修会 第3回地域ケア推進会議 元気もりもり教室上部東 13回目
25 水	元気もりもり教室川東 9回目 地域ケア会議
26 木	大島ケアネットワーク推進協議会
27 金	ケアマネジメント係会
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	